



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会

第 27 回広報・県民運動専門委員会

会議資料



キヤッフィー

チャッフィー

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポマスコットキャラクター

「広報・県民運動専門委員会」委員名簿

(順不同・敬称略)

分 野	所属団体・役職名	氏 名
マスコミ	日本放送協会大津放送局 経営管理企画センター 副局長	河内 博之
	びわ湖放送株式会社 放送管理局 報道部専任部長兼アナウンス室長	坂田 しのぶ
	株式会社京都放送 取締役 ラジオ編成制作局・ラジオ営業局・事業局 大阪支社・滋賀支社担当 滋賀支社長	森永 貴則
	株式会社京都新聞滋賀本社編集局 編集部長代理	小池 直弘
	株式会社中日新聞社大津支局 支局長	岩佐 和也
スポーツ	株式会社エフエム滋賀 編成制作部 部長	糸井 孝実
	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 事務局本部 生涯スポーツ担当 次長	櫻田 信之
	滋賀県障害者スポーツ協会 主幹	吉成 永部
経済・福祉・観光・社会	滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業相談所専門指導室 室次長・専門経営指導員	谷村 直子
	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 事務局次長	高橋 宏和
	公益社団法人びわこビジターズビューロー事務局長	木村 敦
	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事兼 事務局長	南 圭子
	滋賀県地域女性団体連合会 副会長	音野 潤子
	一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会 事務局長 兼 常務理事	八木 兵次郎
	滋賀県青年団体連合会 会長	富長 弘宣
学校関係	滋賀県小学校長会 副会長	金澤 博文
	滋賀県中学校長会 副会長	河地 誠
	滋賀県高等学校長協会 会長	兼房 一浩
	滋賀県私立中学高等学校連合会 会長	近藤 芳治
	滋賀県特別支援学校長会	南 雄志
有識者	同志社大学政策学部 教授	井口 貢 (委員長)
	株式会社TMオフィス チーフP Rディレクター	馬場 大輔
	コミュニケーション・プランニング c h o c o m a k a 代表 (三方よし!子どもの笑顔プロジェクト実行委員会 代表)	廣瀬 香織
市町	東近江市企画部広報課長	臺野 暢之
	豊郷町企画振興課長	清水 純一郎
県	滋賀県知事公室広報課長	辻 良介
	滋賀県総合企画部県民活動生活課 県民活動・協働推進室長	菌田 千代恵

説明・報告事項

- (1) 広報・県民運動 令和6年度取組実績について
- (2) わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 競技映像配信について
- (3) わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 彦根駅前にぎわい創出事業について
- (4) わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 記念品の内容について

審議事項

- (1) 広報・県民運動 令和7年度取組計画（案）について
- (2) わたSHIGA 輝く国スポ メダル授与規程（案）について

その他

- (1) 大会公式ポスター 国スポ会期前競技日程の追加について

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
広報・県民運動 令和6年度取組実績

市町・企業と連携し啓発を行うとともに、広報誌の発行やメディアの活用、屋外広告など、愛称・スローガン・マスコットキャラクターを積極的に活用し、広報活動を展開した。特に大会1年前（R6.9-10）、半年前（R7.1）をPR重点期間とし、集中的な取組を行った。

また、多くの県民や企業の関わりにより両大会が盛り上がるよう、イメージソングの普及やイラストコンクールの実施、ボランティアの募集、花いっぱい運動の実施、寄附・企業協賛の依頼活動などに取り組んだ。

1 広報

（1）大会愛称・マスコットキャラクターのPR

広報・啓発物品、当実行委員会から発出する文書や封筒、名刺、ポロシャツなど、愛称・スローガン、マスコットキャラクター「キャッフィー」

「キャッフィー」を様々な機会で積極的に使用し、両大会の広報・啓発に活用した。

ア マスコットキャラクターの展開

a マスコットキャラクターデザイン展開形の制作

県、市町、競技団体および企業等が広報ポスターやグッズ等の作製に使用できるよう、マスコットキャラクターのデザインを追加した。（競技別デザイン）

b キャッフィー、チャッフィーお誕生日会

キャッフィーとチャッフィーの誕生日（4/27, 6/13）に企業連携イベントや県庁前でのイベント、SNSで動画投稿を行い、両大会のPRにつなげた。

イ 着ぐるみの活用

着ぐるみをイベント啓発で使用したほか、貸し出しにより各種イベントで活用いただいた。（R6年度実績：246件）

（2）各種広報啓発

ア 広報誌の発行

a 広報誌「シャイン!!」

両大会の認知度をより向上させるとともに、大会への県民の期待を高め参画を促進することを目的に、両大会に関する情報を広域に発信する広報誌「シャイン!!」（第7号・第8号）を各38万部制作し、県内で配布される新聞（6紙）に折り込むなどして配布した。

また、多様な方に情報を届けるため、スマートフォン（ウェブ）版や点字版・音声版も制作した。

b 「こども版シャイン!!」

新たに、両大会を契機に子どものスポーツに対する興味関心や障

2025年国スポ・障スポ開催
みんなが輝く大会に！！



こども版シャイン!!



害理解を高めることを目的にした「こども版シャイン!!（創刊号・第2号）」を各6万部制作し、県内の小学生（4～6年生）に学校を通じて配布した。

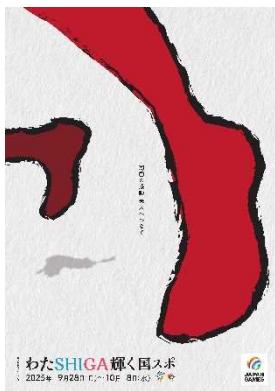
c 職員広報誌

競技体験、大会との関わり等のインタビュー記事を通じ、職員が両大会を知るきっかけとともに、大会の意義を職員が認識することで、大会運営や来県者へのおもてなし、ボランティアなど、大会への主体的な参画を促すことを目的に、職員広報誌第3号・第4号を制作し、庁内向けの掲示板に掲載した。

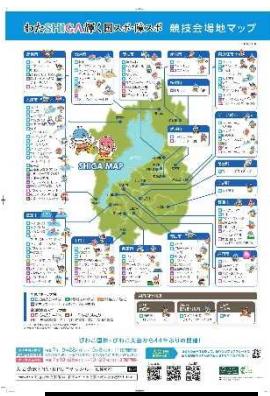


イ ポスター・リーフレットによる啓発

公式ポスターの掲示やリーフレットの設置を県内各駅、各種公共施設、教育機関や企業等に依頼したほか、各種イベント等で大会概要を紹介するためリーフレットを配布し啓発した。



公式ポスター



競技会場
マップポスター



リーフレット

ウ 広報グッズの活用

a イベント等での配布

クリアファイル、ボールペン、蛍光ペン、シール等をイベントでの啓発活動に活用した。



クリアファイル



ボールペン



蛍光ペン



シール

b 企業等への提供

ネックストラップ、ミニのぼり、車両用マグネット、カーサイン、卓上カウントダウンボード、卓上POP、名刺用シール等を企業・団体・学校に提供し広報協力を依頼した。



ネックストラップ



ミニのぼり



車両用マグネットカーサイン



卓上カウントダウンボード



卓上POP



名刺用シール

エ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ PR 大使の設置

開催年を迎えるにあたり、県民の皆様が両大会に対して一層の親しみを持ち、普段スポーツに接点のない方にも関わっていただけるよう「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ PR 大使」を設置し、滋賀県出身アーティストの西川 貴教氏に就任いただいた。

1月1日の就任に併せ、新聞広告（3紙）、テレビCM、SNSなどの媒体を活用し発信するとともに就任キャンペーンとしてモザイクアートキャンペーンを展開した。



新聞広告



大使写真



大使を活用したプロモーション映像

（3）多様なメディアによる広報

ア 大会専用ホームページ

両大会の概要や実施競技など大会に関する情報を掲載したホームページを引き続き運用した。掲載内容を充実させるため、令和6年度は大会PR 大使ページや文化プログラムを紹介するページ等を追加した。また、開催年に向けて、一般閲覧者のアクセス数増加が見込まれるため、情報を取得しやすいうようにトップページの改修を行った。

イ テレビ・ラジオ・インターネット

テレビやラジオ、インターネットのCMを活用し、両大会を広く周知するとともに県実行委員会が実施するイベント告知等を行った。

令和6年度はさらなる大会の周知と県民の参加意識の高揚を図るため、大会プロモーション映像を新たに制作し、テレビやYoutubeで放送した。

また、わた SHIGA 輝く障スポ開催と障害者スポーツの魅力を県民に周知するため、障スポ特集番組「シャイン!!」を（全7回）制作し、テレビおよびYoutubeで放映した。



ウ SNS

Instagram、X（旧 Twitter）を活用し、両大会の準備状況やお知らせ、スポーツに関する情報等を広く県民に周知した。（R7.1.31 現在 Instagram 333 件、X（旧 Twitter）214 件）

エ 自治体広報誌等の活用

イベント開催情報や募集情報を広く県民に周知するため、県や市町の広報誌、教育関係情報誌等を利用して発信した。

開催 1 年前イベントの告知、カレンダーイラストコンクールの告知など

オ 新聞広告

開催 1 年前（9/28）に新聞広告（2 紙）で、競技やイベント、ボランティアなどの情報を広く発信。



新聞広告（1 年前）

（4）イベント啓発

県実行委員会でイベントを企画するほか、県や市町、各種団体等が主催するイベントで PR 活動を実施した。

ア 主催イベント

a 開催 1 年前イベント

「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開催 1 年前イベント みんなのスポーツ Festival！」と題して、スポーツ体験を中心としたイベントを開催し、両大会の啓発活動を実施した。

イベント名	みんなのスポーツ Festival !
日時	令和 6 年 11 月 16 日（土）12:00～16:00
場所	平和堂 HATO スタジアム
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技体験 陸上（競争体験、50m測定）、ジャベリックボール、サッカー、スポーツチャンバラ、キンボール スポーツレクリエーション、モルック、綱引き、スポーツクライミング（ボルダー）、剣道、卓球 バレー ・式典音楽披露 ・アスリートトークショー ・式典弁当メニューコンテスト ・ステージショー <p>テツ and トモさん、Mumei さん、ダンス、キャラ、yokko さん</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・市町・県・関係機関紹介ブース ・大抽選会 ・キッチンカー ・炬火トーチ・炬火受皿、メダル展示
参加人数	延べ 3,000 人



b 節目イベント等

「開催○○日前」の節目を発信の機会と捉え、イベントやキャンペーンを企画し、両大会の啓発活動を実施した。

節目の日	実施内容
500日前 (R6.5.16)	イベント周遊シールラリーの実施
500日前当日 (R6.5.16)	JR大津駅前での声楽アンサンブルによるフラッシュモブ
444日前 (R6.7.11)	SNSプレゼントキャンペーン (投稿テーマ: 看板×国スポ・障スポ)
400日前 (R6.8.24)	障害福祉事業所と連携したメダルデザインに関する記者会見の実施
333日前 (R6.10.30)	SNSプレゼントキャンペーン (投稿テーマ: 大阪・関西万博×国スポ・障スポ)
300日前 (R6.12.20)	マスコットキャラクターを活用したメダルクッキーの販売に関する記者会見の実施
222日前 (R7.2.18)	SNSプレゼントキャンペーンを実施予定
200日前 (R7.3.12)	広報企画を実施予定



イ 県や市町、各種団体等が主催するイベント

特に両大会の認知度が低い若年層をターゲットにしたイベントや集客を見込めるイベント、SAGA2024でブース出展するなどし、両大会のPR活動を実施した。活動実績は別紙のとおり。



西武ライオンズ冠ゲーム



草津市立プールOP式典



SAGA2024

(5) 屋外広告物による広報

ア カウントダウンボードの設置

県民の期待感や開催機運を高めるため、開催までの残日数を刻むカウントダウンボードを新たに2台製作し大津京駅と米原駅に設置した。(計11台)

(設置場所)

大津京駅、米原駅、アル・プラザ水口、フレンドマート長浜駅前店、三井アウトレットパーク滋賀竜王、道の駅あいとうマーガレットステーション、平和堂あどがわ店、県障害者福祉センター、平和堂HATOスタジアム、滋賀ダイハツアリーナ、県庁新館2階大津駅側入口

イ 横断幕の掲示

県立スポーツ施設や競技団体に横断幕を提供し掲出を依頼するほか、滋賀県大津合同庁舎の南側壁面(R6.9.2~10.31、R6.12.10~R7.1.31)、北側壁面(R6.4.1~R6.9.1、R6.11.1~12.9、R7.2.1~)に会期入り特大横断幕を掲出した。



ウ 交通機関による広告

- a 彦根駅西口エスカレーター (R3. 2～)、貴生川駅南口階段 (R3. 11～)、近江今津駅中央階段 (R4. 1～) および草津駅西口のエスカレーターや窓 (R6. 2～) に愛称・スローガン等のデザインを装飾。
- b 米原駅の改札正面に特大の横断幕を掲示。 (R6. 4. 1～)
- c 大津・草津エリア (R1. 11～) および長浜エリア (R3. 2～) においてラッピングを施した路線バス、甲賀・東近江・湖東エリア周辺においてラッピングを施した電車 (R3. 3～) を走行。



近江今津駅



米原駅



ラッピングバス

エ のぼり旗の作製

愛称・スローガン等をデザインしたのぼり旗を作製し、イベント啓発に活用するほか、競技会場となる施設等に掲出を依頼した。

オ 広報看板の設置

県庁正面玄関に公式ポスター・デザインを使用した大看板を設置した。 (R6. 6～)

また東近江市発祥の“飛び出し坊や”をヒントにしたキャッフィーの看板を県や市町のスポーツ施設 40 か所に設置 (R4. 1～) し引き続き PR に活用した。



県庁正面玄関看板

(6) 競技映像の撮影配信

大会期間中に実施する競技映像の配信に向けて、NTT西日本および守山市・近江八幡市と連携し、国スポリハーサル大会の場を活用した AI カメラによる映像配信の実証実験を実施した。

	実施日	競技	会場	閲覧数
1	6月22日～23日	ラグビーフットボール	滋賀県希望が丘文化公園	3,679回
2	9月14日～16日	ソフトボール	守山市民球場	31,074回
3	9月29日	バレーボール	近江八幡市立運動公園体育館	2,226回



AIカメラ



配信映像

(7) 市町・企業団体等との連携

ア 市町との連携

開催準備を行う県市町の職員が大会広報等に関する情報交換を行う場として、「広報・県民運動担当者ワーキング」を実施した。

	開催日	場所	テーマ
第3回	令和6年4月25日(木)	県庁北新館会議室	今年度のイチオシの取組の紹介と連携の模索
第4回	令和6年7月12日(金)	平和堂 HATO スタジアム会議室	開催直前イベント
第5回	令和6年11月20日(水)	県庁北新館会議室	開催期間中の情報発信～SAGA2024を踏まえて～

イ 企業・団体との連携

企業・団体の協力により、営業店舗等での広報物の掲示、従業員のネックストラップの着用、営業車両へのマグネットシートの貼付、営業店舗等のデジタルサイネージでの映像放映等を実施した。また、広報企画でも企業に協力いただき官民連携によるイベントを実施した。



(8) 記念品の作成

大会への参加を記念して都道府県選手団等に配布する記念品の内容、必要数量を調査・検討した。

(9) 大会メダルの作成

「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポメダル制作方針」を策定し、国スポ、障スポ両大会でメダルを授与する方針を定めた。メダルは、滋賀県らしさが感じられる素材・デザインとすることとした。

2 県民運動

(1) イメージソング「シャイン!!」の普及

ア 団体、施設等での活用

ラジオやテレビCMでの活用のほか、従来からの音源の活用に併せて、プロモーションビデオを用いて、各種団体のイベント等での活用や商業施設での店内放送などで活用いただけるよう、企業・団体に対して協力依頼を行った。

また、運動会や体育祭などの学校行事において活用してもらえるよう、学校関係者に対しても協力依頼を行った。



- 協力団体：中体連、高文連、高野連、県陸連、県立スポーツ施設、びわ湖フローティングスクール、滋賀県薬剤師会 等
- 商業施設等：県内平和堂、県内ファミリーマート、県内アヤハディオ、県内ドラッグユタカ、県内キリン堂、県内イオン店舗、道の駅（あぢかまの里、竜王かがみの里、朽木新本陣）、びわこボートレース場、東レ滋賀 等
- 県庁舎等：毎週水曜日正午に庁内放送を実施

イ 国スポ・障スポ教室

イメージソング公式シンガーのyokkoさんを講師としてわたSHIGA輝く国スポ・障スポのPR、講話やイメージソング歌唱、手話歌体験等を行う「国スポ・障スポ教室」を今年度は県内10の小学校、中学校、義務教育学校で実施した。



ウ イベントでの活用

国スポ・障スポ関連イベントをはじめ、びわ湖花火大会、万博プレイベント、滋賀県議会議場コンサートなどの県が実施するイベントでの活用や、民間が実施するイベント等への出役に併せて活用を行った。



(2) カレンダーイラストコンクールの開催

多くの子ども・若者が、県民運動や両大会の盛り上げに参画するきっかけとなるよう、小学生～高校生を対象とした「カレンダーイラストコンクール（別紙1）」を実施した。（応募作品数：773）

また、令和6年度コンクールの入賞作品を使用したカレンダー（令和7年4月始まり）を作製し、各学校や県立、市町立施設等に配布予定（令和6年度入賞作品の展示を令和7年3月に予定）。



令和6年度入賞作品一覧

(3) 花いっぱい運動

ア 花育てリレー試行栽培

市町と連携し、8月下旬～10月末にかけて、花育てリレーの試行栽培を実施し、200以上の小中学校や特別支援学校、幼稚園、保育園、公民館等の花育て団体に協力いただいた。県から資材（プランター、土、肥料、花苗）を市町や花育て団体に提供し、各花育て団体でプランターへの植え替え・水やりなどの管理をし、一部の国スポリハーサル大会の競技会場で飾花された。また、県から提供した花苗の一部

は、県内農業高校（長浜農業高等学校、湖南農業高等学校、甲南高等学校）と県農業技術振興センターで育成した。



イ デザイン飾花

主会場である平和堂 HATO スタジアムに設置するデザイン飾花について、八日市南高等学校および県立大学多賀木匠塾に協力いただき、飾花の試験栽培と飾花台のデザインおよび制作を実施した。



（4）クリーンアップ運動

市町および県循環社会推進課、各環境事務所と連携し、「びわ湖を美しくする運動」において、大会オリジナル軍手約 12,000 双を配布し、クリーンアップ運動を推進し PR した。また、「ごみゼロの日」野洲のおっさんと大清掃会に参加し、清掃活動や PR を行った。



野洲のおっさんと大清掃会

（5）ボランティアの募集等について

ア 運営ボランティアについて

企業・団体への呼びかけや、びわ湖マラソンと共同での募集、ラジオなど各種メディアの活用等、昨年に引き続きボランティアの募集を行った。また、令和 6 年 9 月には、ボランティア参加者記念品として「大会オリジナルHOPカード」を発表し、11月には第1回運営ボランティア研修会を開催するなど本大会に向けた取り組みを進めた。（令和 7 年 3 月に第 2 回研修会の開催を予定）

【応募状況（延べ人数）（令和 6 年 12 月末現在）】

1,039人：国スポ開閉会式

105人：国スポ競技会（県募集分）

1,812人：障スポ開閉会式・競技会



運営ボランティア研修会



大会オリジナルHOPカード 発表

イ 手話・要約筆記ボランティアについて

手話・要約筆記ボランティアの応募者に対しては、両大会における業務を理解し、適切に遂行できるようするため、県内9会場で6回の講座を実施するとともに、活動場所の希望を調査し、配置の検討を行った。

【応募状況（延べ人数）（募集終了）	応募人数
	(R6. 5. 31)
・手話、筆談、要約筆記（手書き）	749人
・要約筆記（パソコン）	97人
	計 846人



手話・要約筆記ボランティア養成研修

ウ 選手団サポーターについて

わたSHIGA輝く障スポに参加する選手団のサポートを行う選手団サポーター（学生ボランティア）の養成協力校や選手団サポーター活動内容の紹介を総会で行い取組の周知を図った。12月には第2回の養成協力校連絡会議を行うとともに、サポーターを養成するための研修動画を作成するなど開催年度に向けて準備を進めている。令和7年1月現在、24校の大学、短期大学、専門学校等に養成協力校として委嘱を行った。

選手団サポーター養成協力校（24校）		
滋賀大学	龍谷大学	華頂看護専門学校
滋賀医科大学	びわこ学院大学	大津市医師会立看護専修学校
滋賀県立大学	滋賀文教短期大学	滋賀県堅田看護専門学校
成安造形大学	びわこ学院大学短期大学部	華頂社会福祉専門学校
聖泉大学	びわこリハビリテーション専門職大学	草津看護専門学校
長浜バイオ大学	滋賀県立看護専門学校	滋賀県済生会看護専門学校
びわこ成蹊スポーツ大学	滋賀県立総合保健専門学校	甲賀看護専門学校
立命館大学	大津赤十字看護専門学校	佛教大学

（6）寄附・企業協賛への呼びかけ等

県内経済団体等の会合の場を借りての呼びかけや、企業の個別訪問による依頼活動、県内資本金5,000万円以上の企業、東京の滋賀ゆかりの企業を中心に知事直筆の署名およびメッセージ入りの依頼文を計577社（令和6年5月に277社、令和6年9月に300社）に送付した。7月30日には実行委員会総会後に寄附・協賛計10者の感謝状贈呈式を行った。（次回は令和7年3月実施予定）



R6. 7. 30 寄附・協賛 感謝状贈呈式



知事依頼文

ア 寄附

寄附申込の増加に伴い寄附者名顕彰銘板の増設（6月）および追加設置（10月）を行った。その他、新たな募金グッズとしてトートバッグを製作し、SAGA2024国スポ・障スポ各開閉会式、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ1年前イベント、他課が開催する会議の受付時に販売を行うなど募金グッズの販売機会を拡大した。（令和7年3月に新たなグッズとしてタオルハンカチを追加予定）



イ 企業協賛

企業協賛に係る特典として、両大会ホームページをはじめ広報誌等への企業名やロゴの掲載など、広告を実施した。

企業協賛については、今年度で100万円以上の協賛金は募集を終了する（物品協賛、100万円未満の協賛金は大会終了まで引き続き募集）。



(7) その他、機運醸成の取組

ア 大会HPの「みんなで盛り上げよう！！わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」ページに、企業・団体による大会広報への協力の取組や滋賀ゆかりのアスリートからのメッセージを掲載した。



イ コラボしが21、県立図書館、渡り廊下ギャラリー（本庁舎内）で国スポ・障スポを紹介するパネルやポスター等を用いた展示を行った。



コラボしが21での展示
(大津商工会議所主催)



県立図書館での展示

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ カレンダーイラストコンクールの実施について

2025年（令和7年）に開催するわたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催周知と機運醸成を図るため、子どもたち（小学生～高校生）からイラストの募集を行い、入賞作品を選定した。

また、両大会広報に役立てるため、入賞作品を使用したオリジナルカレンダー（令和7年度用）を作製し、学校や公共施設などに配付予定。

1 カレンダーイラストコンクールの概要について

（1）募集期間

令和6年5月中旬～9月30日

（2）応募作品数

小学1～3年生の部	232 作品
小学4～6年生の部	251 作品
中高生の部	290 作品
	計 773 作品

（3）入賞作品

当専門委員会のポスター等選定部会（令和6年12月10日開催）にて、
部門ごとに、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作5作品。合計24作品を選定。

2 入賞作品の展示について

入賞作品を両大会の周知や広報に役立てるため、下記のとおり作品展示を行う予定。

滋賀県庁 本館1階県民サロン

令和7年3月12日（水）～令和7年3月28日（金）

◆イベント等での広報・啓発活動の実績

月 日	内 容	場 所
4月1日	米原駅での啓発活動	米原駅
4月5日	春の交通安全運動オープニング式	県庁正面玄関前
4月13日	西武ライオンズ滋賀県スペシャルデー	ベルーナドーム
4月18日	宮島未奈氏知事敬訪問	滋賀県公館
4月23日	広報ステッカー贈呈式(日本郵便株式会社)	大津中央郵便局
4月28日	びわ湖の春 音楽祭2024	びわ湖ホール
5月16日	国スポ500日前サプライズ企画	大津駅前
5月19日	大津つ子まつり	皇子が丘公園
5月22日	甲賀市立大原小学校人権講演会	甲賀市立大原小学校
5月24日	協賛車貸与式	県庁正面玄関前
5月26日	イナズマフードGP	YMITアリーナ
5月30日	野洲のおっさんびわ湖一周行脚出発式	打出浜
6月7日	冬季競技強化指定選手認定式	ピアザ淡海
6月8日	京都鉄道博物館企画展	京都鉄道博物館
6月9日	京都鉄道博物館企画展	京都鉄道博物館
6月13日	チャッキーお誕生日会	県庁正面玄関前
6月15日	スポーツフェスタ	皇子が丘公園
6月30日	びわ湖の日「親子で楽しむ環境イベント」	ピエリ守山
7月6日	スポーツフェスタ	長浜バイオドーム
7月9日	大看板設置	県庁前
7月12日	副知事退任式	県庁前
7月15日	親子スポーツフェスタ2024	長浜バイオドーム
7月20日	いまづてつどうマルシェ	近江今津駅
7月27日	インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)開館記念式典	インフロニア草津 アクアティクスセンター
7月27日	スポーツフェスタ	YMITアリーナ
7月30日	総会でのユニフォーム・炬火用具発表・感謝状贈呈式・サボボラ養成協力校紹介	プリンスホテル
8月3日	スポーツフェスタ	野洲市体育館
8月23日	メダル発表	会見室
8月24日	第54回滋賀県芸術文化祭 オープニングイベント	滋賀県立文化産業交流会館
8月24日	400日前企画メダル発表	県庁会見室
8月26日	花苗引き渡し式	長浜農業高校
8月27日	花苗引き渡し式	甲南高校
9月4日	花苗引き渡し式	草津小学校
9月14日	ライフルCPリハーサル大会	能勢ライフル射撃場
9月15日	ライフルCPリハーサル大会	能勢ライフル射撃場
9月16日	ライフルCPリハーサル大会	能勢ライフル射撃場
9月18日	議場コンサート	滋賀県議会議場
9月19日	SAGA2024結団壮行式	ピアザ淡海
9月29日	第26回 滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 陸上競技	平和堂HATOスタジアム
10月5日	SAGA2024国スポ開会式	SAGAサンライズパーク
10月9日	国スポ・障スポーツ教室	高島市立青柳小学校
10月12日	すまいるあくしょんふえすた	産業文化会館
10月15日	SAGA2024国スポ開会式	SAGAサンライズパーク
10月17日	国スポ・障スポーツ教室	大津市立栗津中学校
10月18日	国スポ・障スポーツ教室	日野町立日野小学校
10月22日	国スポ・障スポーツ教室	草津市立草津小学校
10月26日	SAGA2024障スポーツ開会式	SAGAサンライズパーク
10月28日	SAGA2024障スポーツ開会式	SAGAサンライズパーク
10月30日	東近江市立蒲生西小学校人権講演会	東近江市立蒲生西小学校
10月31日	国スポ・障スポーツ教室	近江八幡市立金田小学校
11月2日	万博ミライEXPO	びわ湖ホール
11月2日	三木金物まつり	三木山総合公園
11月16日	開催一年前イベント「みんなのスポーツFestival」	HATOスタジアム
11月17日	びわ湖駅伝	希望が丘文化公園
11月18日	湖南市立三雲小学校人権講演会	湖南市立三雲小学校
11月20日	税を考える日	大津駅前
11月20日	国スポ・障スポーツ教室	米原市立河南小学校
11月24日	国際ヨットレース	ピエリ守山
11月27日	国スポ・障スポーツ教室	長浜市立虎姫学園
12月2日	300日前企画	記者室
12月6日	東近江市立蒲生東小学校人権講演会	東近江市立蒲生東小学校
12月7日	ヨシ刈りイベント	高島市内
12月8日	共生社会啓発イベント	イオンモール草津
12月11日	国スポ・障スポーツ教室	彦根市立城北小学校
12月17日	国スポ・障スポーツ教室	甲賀市立甲南第二小学校
12月19日	県庁OPデー	県庁
12月20日	競技強化指定選手認定式	産業文化会館
12月20日	甲賀市立水口中学校人権講演会同行	あいこうか市民ホール
12月21日	瀬田地域少年野球交流大会	龍谷大学
12月22日	原松原線開通式	彦根市内
1月20日	国スポ・障スポーツ教室	MIHO美学院中等教育学校
3月1日	レイクス冠ゲーム	ダイハツアリーナ
3月9日	びわ湖マラソン	鳥丸半島
3月9日	JG滋賀パーク	ダイハツアリーナ
3月15日	「治田大橋橋上」開通式	治田大橋橋
3月16日	東レアローズ冠ゲーム	YMITアリーナ
3月23日	「草津川橋橋上」開通式	草津川橋橋上
3月29日	「近江妙蓮大橋橋上」開通式	近江妙蓮大橋橋上

令和6年度実績:78

◆多様なメディアによる広報

月日	内容	番組 掲載場所等
4月1日	米原駅での啓発活動	中日新聞 ZTV
4月1日	レガシー本部の設置	毎日新聞、中日新聞
4月5日	春の交通安全運動オープニング式	NHK、BBC、朝日新聞デジタル、読売新聞、中日新聞、京都新聞
4月8日	紺綬章伝達式(関西みらい銀行)	日本経済新聞電子版、ニッキンONLINE
4月18日	宮島未奈氏知事表敬訪問	朝日新聞、産経新聞、中日新聞、NHK、BBC
4月23日	広報ステッカー贈呈式(日本郵便株式会社)	読売新聞、ZTV
5月10日	500日前企画イベント周遊シールラリー	産経新聞、中日新聞、滋賀報知新聞、地域号外ニュースネット(WEB)
5月16日	国スポ500日前サプライズ企画	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、中日新聞、京都新聞、滋賀報知新聞、BBC
5月24日	協賛車両貸与式(全国マツダ労連)	滋賀報知新聞(WEB)
5月30日	野洲のおっさんびわ湖一周行脚出発式	BBC(野洲のおっさん一周行脚期間中随時)
6月7日	冬季競技強化指定選手認定式	中日新聞 京都新聞
6月12日	チャッパーお誕生日会	朝日新聞、中日新聞、京都新聞、滋賀報知新聞Web版、BBC
6月13日	LINEスタンプ第3弾発売開始	中日新聞、スマートニュース
6月22日	スポーツDXソリューション実証実験	京都新聞、中日新聞
7月10日	444日前企画	朝日新聞、朝日新聞デジタル、読売新聞、中日新聞、京都新聞、滋賀報知新聞
7月30日	総会でのユニーフォーム・炬火用具発表・感謝状贈呈式・サポボラ養成協力校紹介	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、中日新聞、京都新聞、滋賀報知新聞、BBC
8月24日	400日前企画メダル発表	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、中日新聞、京都新聞、滋賀報知新聞、共同通信、BBC
8月26日	花苗引き渡し式	ZTV
9月4日	花苗引き渡し式	BBC
9月18日	県議会議場コンサート	朝日新聞、毎日新聞、中日新聞、京都新聞、時事通信、NHK、BBC
9月25日	ボランティア参加記念品発表	毎日新聞、読売新聞、産経新聞、中日新聞、京都新聞
10月9日	国スポ・障スポ教室(青柳小学校)	京都新聞
10月15日	SAGA2024共同記者会見	中日新聞、京都新聞
11月15日	こども版シャイン発行	滋賀報知新聞
11月16日	開催一年前イベント「みんなのスポーツFestival」	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、中日新聞、京都新聞
11月21日	国スポ・障スポ教室(河南小学校)	中日新聞
12月2日	300日前企画	読売新聞、産経新聞、中日新聞、京都新聞
12月22日	原松原線開通式	中日新聞、京都新聞、NHK、BBC
1月1日	西川大使の就任	朝日新聞、中日新聞、京都新聞、滋賀報知新聞、しがトコ、みんなの経済新聞、夕刊滋賀
1月7日	障スポ特集番組シャイン!!	中日新聞
1月23日	ライフル射撃競技に係る大阪府との連携	中日新聞、京都新聞、時事通信、BBC

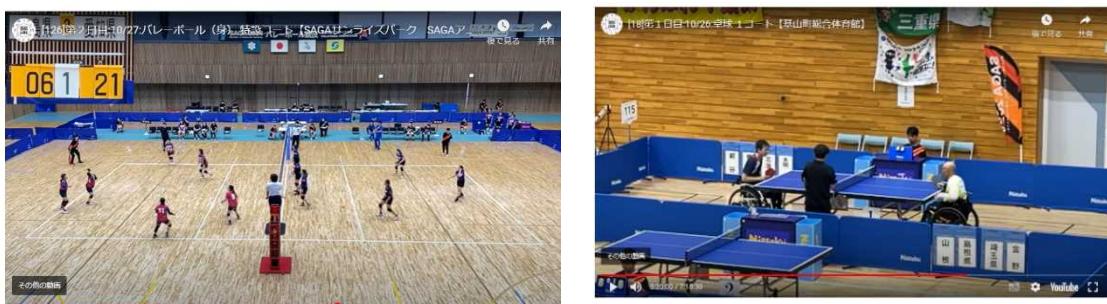
令和6年度実績:30

(R7.1.23現在)

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 競技映像配信について

1 概要

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ(以下、「両大会」という。)の開催を契機に、スポーツの普及・振興や障害理解の向上等を目的に、両大会の競技映像を撮影し、インターネット配信を行います。



2. 国スポの映像配信 【国スポチャンネル】



公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)と共同で、式典および正式競技(決勝)の映像をWebサイト「国スポチャンネル(旧:国体チャンネル)」で配信する予定です。

なお、国スポの競技映像は当チャンネル以外でネット配信することは原則認められていません。

3. 障スポの映像配信



障害者スポーツ大会については昨年の大会で佐賀県が初めて競技映像を配信されました。本県においても同様に式典および正式競技(全試合)の映像をYouTubeで配信する予定です。

【参考:先催県の状況と本県の実施内容(予定)】

	詳細	鹿児島(2023)	佐賀県(2024)	滋賀県
国 ス ポ	配信対象	式典・正式競技決勝	式典・正式競技全試合	式典・正式競技決勝
	実況解説	なし	半数の決勝で配置	全ての決勝で配置
	視聴者数	延べ 73 万	延べ 76 万	—
障 ス ポ	配信対象	—	正式競技全試合	正式競技全試合
	実況解説	—	一部の競技で配置	全ての競技で配置
	視聴回数	—	21 万回再生	—

※視聴数は国スポ(国体)・障スポ開催期間中の集計

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 彦根駅前にぎわい創出事業について

1 趣旨

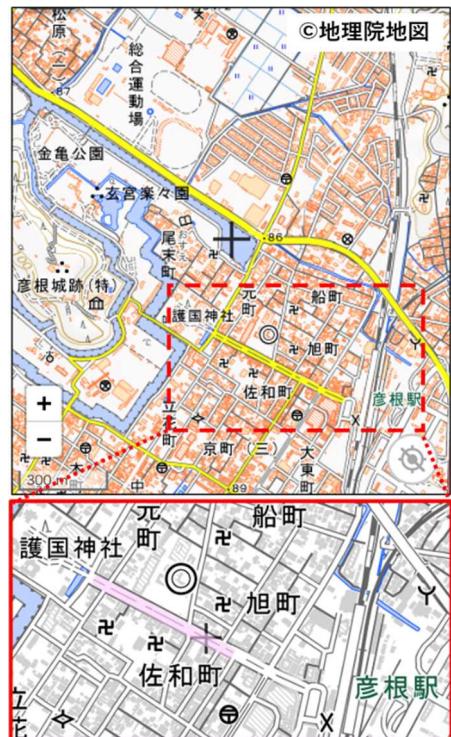
わたSHIGA国スポ・障スポの開閉会式会場（彦根総合スポーツ公園）は、JR彦根駅から約1.8km（徒歩20分強）と動線距離が長いため、駅前メインストリートを歩行者天国化し、来会者を迎えるエリアとする。

2 規制エリア

彦根駅西側（琵琶湖側）

旭町西交差点～護国神社前交差点＜全線規制＞

※右図のうち、桃色着色部分。



3 催事日時

国スポ総合開会式日 開場～開式通告

（令和7年9月28日（日） 11時15分～15時15分）

（規制7～17時15分）

4 催事内容

飲食・土産・展示ブース・休憩ブース・装飾 等



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 記念品の内容

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポにおいては、両大会に出場する選手を称え、参加を記念することを目的として、記念品を製作。昨年 10 月にプロポーザル審査を経て、下記の製作内容が決まったため報告するもの。

1 事業者

スマイディア・信楽陶苑共同企業体

代表 株式会社スマイディア 代表取締役 石光 堅太郎
(滋賀県栗東市川辺568-2)

2 記念品の概要

品名 信楽焼オリジナル記念マグネット＆巾着セット

手作りの信楽焼でできたマグネットを巾着に入れたセット。マグネットの表面には滋賀の名産品や観光地等のイラストや大会ロゴがカラーで描かれている。巾着はエコ素材で作られたもの。

サイズや重さは下記のとおり。

巾着サイズ：130 mm × 100 mm

マグネットサイズ：直径 60 mm

マグネットの重さ：60g～70g 程度

<製品イメージ>



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
広報・県民運動 令和7年度取組計画（案）

各種イベントにおける啓発活動に加え、広報物、メディア、屋外広告など、マスコットキャラクター・愛称・スローガンを活用した様々な広報活動を展開し、大会の開催に向け県民の期待を高め、参画を促進するための効果的な発信を行う。

全国から来県される選手等を歓迎するため、駅等で歓迎装飾を実施するとともに、花いっぱい運動やクリーンアップ運動の展開、各種ボランティアの養成など、県民一人ひとりが様々な形で関わる大会の開催に向けて取組を進める。

1 広報

（1）大会愛称・マスコットキャラクターのPR

ア マスコットキャラクターの展開

公用車のラッピング、広報・啓発物品、当実行委員会から発出する文書や封筒、名刺、ポロシャツなど、愛称・スローガン、マスコットキャラクター「キャッフィー」「チャッフィー」を様々な機会で積極的に使用し、マスコットキャラクター等を通じた広報を展開する。

また、大会100日前にマスコットキャラクターを使用したフレーム切手、大会の開催直前にふるさと記念切手、記念硬貨を発行する。

イ 着ぐるみの活用

着ぐるみをイベント啓発等で使用しPRに活用するとともに、地域のスポーツ大会やイベント等で幅広く活用いただけるよう貸し出しを行い、両大会の広報・啓発を実施する。



キャッフィー・チャッフィー

（2）各種広報啓発

ア 広報誌の発行

両大会の情報を多くの方に届けるため、新聞折込を活用するなどして、広報誌「シャイン!!」を発行する。発行にあたっては、スマートフォン（ウェブ）版、音声版、点字版も制作する。（1回発行予定）

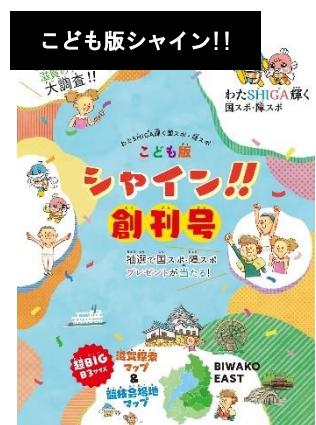
また、県内の小学生向けの「こども版シャイン!!」を発行する。（1回発行予定）

イ ポスター・リーフレットによる啓発

これまで制作した両大会の公式ポスターを活用し、県内各所への掲出を進めるとともに、両大会の概要をまとめたリーフレットを刷新し、イベントや大会式典で配布をする。

ウ 広報グッズの活用

イベント等での啓発活動で使用するグッズや企業活動の中で活用いただけるグッズなど用



途に合わせた効果的なグッズを作製し、広報啓発活動に活用する。

(3) 多様なメディアによる広報

ア 大会ホームページ

両大会の概要や実施競技など大会に関する情報を掲載したホームページを運用する。また、開催に向けて、必要な開・閉会式や各競技会場の情報を随時ページ追加するなど対応する。

イ テレビ・ラジオ

これまで制作した大会プロモーション映像等を活用し、テレビやラジオのCMを実施する。

ウ 新聞等の紙媒体

新聞をはじめとした紙媒体を活用し、広告や特集記事、選手名鑑の作成等を通じて、広く大会の情報を発信する。

エ SNS

Instagram、X（旧Twitter）、Youtubeを活用し、両大会に関するお知らせ、スポーツに関する情報等を広く県民に周知する。

オ 自治体広報媒体等の活用

イベントや大会の開催情報等を広く県民に周知するため、県や市町の広報媒体、教育関係情報誌等を利用して発信する。

カ 観戦ガイドブックの作成

県外から来県する来場者・関係者等への情報提供および県民へ広く両大会に関する情報を発信し、観戦を促進するための観戦ガイドブックを作成する。



ホームページ



Instagram

(4) イベント啓発

ア 主催イベント等

節目毎にイベント等を実施し、両大会の開催周知と更なる機運醸成を図る。

イ 県や市町、各種団体等が主催するイベント

市町等と連携し、両大会の認知度の低い若年層をターゲットにしたイベント等に参画し広報・啓発活動を行う。

ウ 大会記念植樹

両大会の成功を記念し、彦根総合スポーツ公園で実施し、のちに主会場を訪れた県民が、両大会での体験や感動を思い出すレガシー作りとして記念植樹を行う。



大津郵便局にて

(5) 屋外広告物による広報

ア 横断幕の掲示

県立スポーツ施設や競技団体に横断幕を提供し掲出を依頼するほか、滋賀県大津合同庁舎の南側壁面、北側壁面に特大横断幕を掲出する。



イ 交通機関による広告

a 県内の鉄道駅を活用した広告を引き続き掲出する。

(現設置場所)

彦根駅西口エスカレーター、貴生川駅南口階段、近江今津駅中央階段、草津駅西口エスカレーター・窓、米原駅改札正面



ラッピング電車

b ラッピングを施した路線バスや電車による広告を引き続き実施する。

ラッピングバス：大津・草津エリア、長浜エリア

ラッピング電車：甲賀・東近江・湖東エリア周辺

ウ シティドレッシング業務

大会に向けて、県内の様々な場所を装飾し、どこにいても大会に触れられる環境づくりをする。

a 県内の鉄道駅の装飾

滋賀県内 16 駅（木ノ本駅、長浜駅、米原駅、彦根駅、能登川駅、近江八幡駅、野洲駅、守山駅、栗東駅、草津駅、石山駅、大津駅、大津京駅、近江今津駅、貴生川駅、甲西駅）、新幹線米原駅での駅装飾、県内全駅（JR、京阪、近江鉄道）でポスター掲出を実施する。



大津駅（イメージ）

b 車内広告の掲出（JR）

c 高速道路 SA 広告（テーブルステッカー等貼付）

d 商業施設でのサイネージ放映

(6) 市町・企業団体等との連携

ア 市町との連携

これまで制作した県の映像コンテンツ等を市町に提供するなどして広報連携を図る。また、必要に応じて県市町の広報・県民運動の担当者間で意見交換を行う「広報・県民運動担当者ワーキング」を開催する。



イ 企業・団体との連携

企業・団体の協力により、営業店舗等での広報物の掲示、従業員のネックストラップの着用、営業車両へのマグネットシートの貼付、営業店舗等のデジタルサイネージでの映像放映等を企業・団体に依頼し啓発の輪を広げる。



社員が大会ネックストラップ着用

(7) 競技映像の撮影配信

観戦機会の確保等を目的に、国スポの正式競技決勝戦をWEBサイト「国スポチャンネル」で、障スポの正式競技をYoutube（実行委員会開設チャンネル）で配信する。

(8) 大会報告書の作成

大会の集大成として、大会開催に向けた広報・県民運動の取組等、開閉会式、競技記録等を取りまとめ、その成果と感動を永く後世に伝えるとともに、開催後も県のスポーツ振興の継続に寄与する。



(9) 記念品の配布

出場を記念することを目的に製作した記念品を選手団に配布する。

(10) メダルの授与

国スポ正式競技および特別競技（高校野球）の1位から3位までの選手と、障スポの1位から3位までの選手およびその補助者に授与するメダルを大会で授与する。



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
メダル

2 県民運動

(1) イメージソング「シャイン!!」の普及

より多くの方に大会やイメージソングを知ってもらうため、引き続き、ラジオやテレビCMを活用するほか、団体・企業のイベント等や商業施設での店内放送、学校行事などで活用いただけるよう、積極的に協力依頼を行う。



「シャイン!!」PV

(2) 花いっぱい運動

ア 花育てリレー

県から各市町を通じて小中学校等へ花苗、プランター等の資材を提供し、育成されたプランター飾花は国スポ競技会場や駅周辺等に設置する。また、花苗の一部は、農業高校（長浜農業

高校、湖南農業高校、甲南高校）と県農業技術振興センター（農業大学校、花・果樹研究部）が育成する。

イ 会場プランター飾花

来県者を歓迎するため、平和堂HATOスタジアムと県運営競技会場、障スポ競技会場は、農業高校と特別支援学校で育成されたプランター飾花を設置する。



プランター飾花

ウ デザイン飾花

滋賀県立大学多賀木匠塾が制作した飾花台に、八日市南高校が育成した花苗を飾り、デザイン飾花として平和堂HATOスタジアムに設置し来場者におもてなしをする。



デザイン飾花台

（3）ボランティアの募集等について

ア 運営ボランティア

両大会の運営に携わっていただく運営ボランティアについて、参加者記念品の「大会オリジナルHOPカード」等をPRし募集期限である令和7年5月30日まで募集を続けるとともに、研修会の開催やボランティアの配置検討を進め、ボランティアの皆さんのが円滑に活動できるよう準備を進める。



募集チラシ

イ 手話・要約筆記ボランティア

両大会に参加する聴覚障害のある選手および観客者等に対して手話や要約筆記、筆談等で情報支援を行う「手話・要約筆記ボランティア」を引き続き養成する。令和7年度は、リーダー研修や直前研修を実施するとともに、活動日時の調整等、ボランティアの皆さんのが円滑に活動できるよう準備を進める。



手話・要約筆記ボランティアの活動

ウ 選手団サポーター

選手・役員の支援を行う選手団サポーター（学生ボランティア）に対しては、マニュアルや動画を活用し、大会本番までの心構え等について、養成協力校と連携して研修を行う。また、各養成協力校に対しては、障スポ大会期間中に協力いただける人数の調査を行い、配置計画の検討を行う。



選手団サポーターの活動 (佐賀県)

（4）おもてなし

ア おもてなし広場（愛称：おもてな SHIGA エリア）の設置

主会場の「おもてな SHIGA エリア」をはじめ各会場で特産品や郷土料理を取り入れた食の提供など、来県された方に滋賀の魅力が伝わるおもてなしを行う。



おもてなし広場 (鹿児島県)

ただくとともに、リユース食器の導入など、環境に配慮した広場を運営する。

イ 総合案内所の設置

選手団や大会関係者、観覧者等を温かくお迎えし、開閉会式や各競技会、交通等に関する情報提供を行うとともに、観光や物産等、滋賀県の魅力発信を行う。



駅総合案内所（栃木県）

（5）歓迎装飾

ア 応援手作りのぼり旗

両大会に参加する各都道府県および政令指定都市選手団を歓迎・応援するため、児童生徒達が制作したのぼり旗436本を開・閉会式会場、県運営競技会場、障スポ競技会場等に設置する。応援手作りのぼり旗は、県立高校、特別支援学校、滋賀大学附属中学校に協力依頼し、令和6年度に制作していただいた。



応援手作りのぼり旗

イ 駅・会場装飾

平和堂HATOスタジアムの最寄り駅である彦根駅、指定乗降地である米原駅、大津駅について、壁面や床、階段等に装飾を行うとともに、平和堂HATOスタジアムでは歓迎のぼり旗等の装飾を実施し、全国から来県する方々をお出迎えする。



駅歓迎装飾

（6）両開会式における選手応援団（都道府県応援団）の実施

国スポ・障スポの両開会式を盛り上げるため、彦根市内の小学5、6年生から参加希望者を募り、声援や応援道具などで、観覧席から各選手団を応援する「都道府県応援団」を実施する。



都道府県応援団（鹿児島県）

（7）クリーンアップ運動

全国から来県する方々をきれいな滋賀で気持ちよくお迎えするため、競技会場や公共施設、観光地などの周辺のほか、道路、河川、湖岸などの清掃活動を推進する。その一環として、大会オリジナル軍手を作製、市町等にも提供し活動の輪を広げる。また、100日前イベントとして、主会場周辺で清掃活動を実施する。

（8）寄附・企業協賛

ア 寄附

企業・団体から御支援をいただけるようホームページ等で引き続き呼びかけを行うとともに、謝意表明を実施し、SNS等を活用し情報発信していく。

また、各種イベントへの出展ブースにおいて募金グッズ



新募金グッズ タオルハンカチ

の販売等を行い、大会PRや機運醸成を図る。

イ 企業協賛

寄附同様、企業・団体からの協力が得られるよう呼びかけるとともに謝意表明を実施する。

また、会場周辺の歓迎のぼり旗や屋外PR看板、両大会HP、広報誌等に広告として企業名を掲出するなど、協賛企業の特典を実施する。

(9) その他、機運醸成の取組

多くの方々から様々な支援をいただいて、盛り上がりをつくっていけるよう、大会HPの「みんなで盛り上げよう！！わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」ページに掲載している企業・団体による大会へ向けた協力の取組などの事例の充実を図っていく。



大会 HP 特設ページ

わた SHIGA 輝く国スポ メダル授与規程（案）

1 趣旨

この規程は、わた SHIGA 輝く国スポの入賞者に授与するメダルの取り扱いについて必要な事項を定める。

2 授与対象者

わた SHIGA 国スポにおいて授与するメダルの授与対象者は、次のとおりとする。

正式競技、特別競技の競技種目、種別における第1位から第3位までの入賞選手

3 メダルの種類

授与するメダルの色は、第1位入賞選手には金色、第2位入賞選手には銀色、第3位入賞選手には銅色とし、裏面には各順位を表す点字を入れる。その他のデザイン等は統一したものとする。

4 その他

この規程に定めるもののほか、必要な事項は、関係者が協議のうえ決定する。

